

在鸣门 2022 年 9 月 总第 183 期

本期在鸣门来聊一下“福永家住宅”。

福永家住宅位于鸣门市鸣门町高岛滨中 150 号，包含居住房屋和生产设施。现存的建筑物距今有约 200 年的历史。在 1976 年（昭和 57 年）被指定为国家文化财产（重要文化财产-建筑物），现归鸣门市管理。

今回は福永家住宅（ふくながけじゅうたく）についてお話したいと思います。

福永家住宅は鳴門市鳴門町高島浜中 150 番地にある製塩業者の古民家および生産施設です。現存する建物は約 200 年の歴史を持っており、昭和 51 年（1976 年）に国の文化財（重要文化財-建造物）に指定され、鳴門市に管理されています。



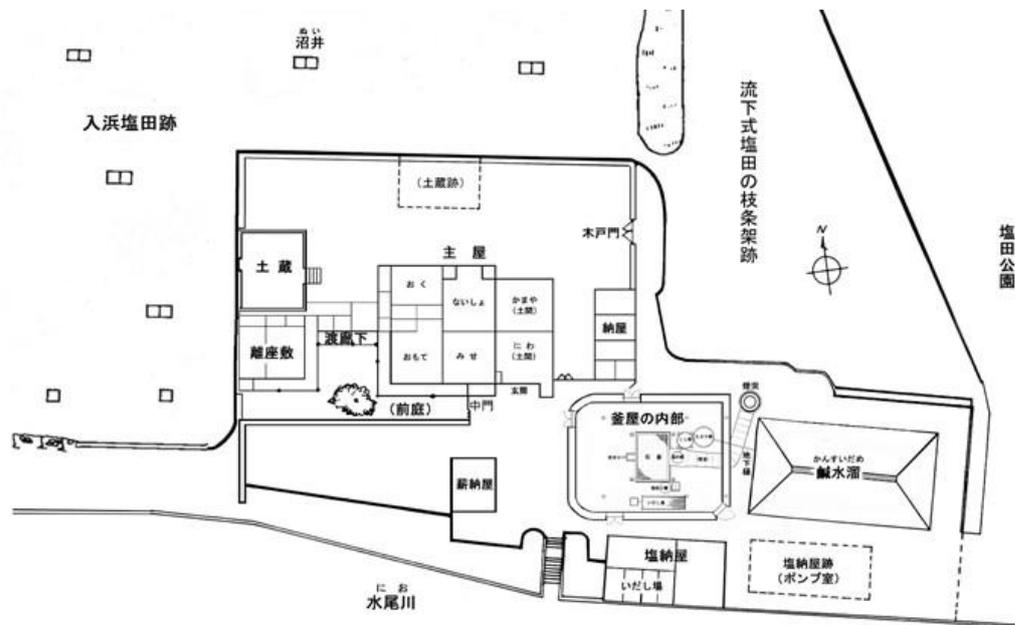
鸣门市岛屿众多，常年风力强劲，潮流激烈。另外，降水稀少，利于晒盐，于是就利用宽阔的滩涂，从江户时代（1603 年-1867 年）开始翻整为大规模的晒盐场。在比较 1954 年的地图和现在的地图之后，发现包括内之海综合公园，鸣门教育大学在内，市政府和大冢体育公园周边也曾经都是晒盐场。随着技术不断革新，原先的制盐方法被更加高效的方法所取代，晒盐场被逐步废止。

在文化交流促进课，宣传保护福永家住宅是重要的工作内容。更加详细的介绍，请看下面与保护文化财产负责人的对话。

鳴門市は島が多く、風が強いため、潮も激しいです。また、雨が少なく塩づくりに適していたため、広大な浅瀬を利用し、江戸時代から大規模な塩田が作られました。昭和 29 年（1954 年）の地図と現在の地図を比べてみると、ウチノ海総

合公園、鳴門教育大学、市役所や鳴門・大塚スポーツパーク周辺などはほとんどが塩田でした。技術革新によって、製塩は効率のよい方法に変わっていく中、塩田も徐々に廃止されました。

文化交流推進課では、福永家住宅を保護、活用することは重要な仕事内容です。さらに詳しく紹介するため、文化財保護の担当者に話を聞きました。

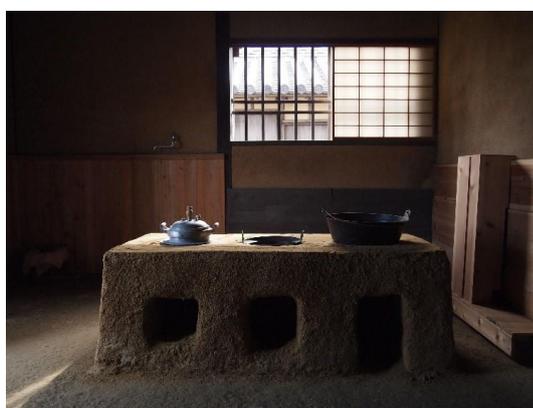


1. 首先，请简单和大家打一下招呼。

鸣門市因始于江戸时代的制盐业而兴盛。我们的工作就是让大家更加了解那段时间的历史。

1. まず、簡単な挨拶をお願いします。

鳴門市は、江戸時代から製塩業により栄えたところでもあります。市の内外の方にそういった歴史を知ってもらうため、私たちは日々仕事をしています。



2.福永家の制盐产业起于哪一年，结束于哪一年？

1599年，当时的阿波国（现德岛县）的大名（类似于古代诸侯）蜂须贺家政（1558年-1638年），命令从播磨国（现兵库县南部）招聘专家，在鸣门市周边开始制盐。在江户时代这里是全国有名的产盐地。当时有将近200所靠制盐起家，福永家就是其中之一。

明治后，随着技术进步，制盐的方法也在逐步革新，逐渐开始由工厂集中制盐。到1971年，之前的盐田被全部废止。

2.福永家の製塩産業はいつからいつまでですか。

現在の鳴門市周辺では、1599年、当時の阿波国（現在の徳島県）の大名、蜂須賀家政の命令で播磨国（現在の兵庫県南部）から専門家を招いて、塩づくりをしたのが始まりと言われています。江戸時代は、塩の生産地として全国的に有名でした。塩づくりをしていた事業家がおよそ200軒あり、福永家もその中の一つでした。

明治以降、日本の近代化が進むと、技術の進歩により塩づくりの効率が良くなり、工場で塩が作られるようになっていきました。昔からの塩田は1971年に全て廃止されています。

3.在中国，盐的生产和销售都是政府垄断的，福永家能够产盐卖盐，估计和政府保持不错的关系吧。

江户时代，制盐是由藩（地方政府）来管理，我认为包括福永家在内的制盐作坊应该和地方政府的关系不错。

明治后，盐的生产和销售从1905年到2002年为止的大约100年左右，是由国家统一管理的，不过现在已经放开。在制盐业面向工业化的时候，由制盐业的企业家们共同出资成立的公司鸣门盐业，现在依旧在生产盐。

3.中国では塩の生産と販売は政府が独占しています。そう考えると福永家は政府関係者という関係を持っていたということでしょうか。

江戸時代は、塩づくりが藩により管理されていたので、塩づくりをしていた福永家などの事業家も藩（地方政府）とは悪い関係ではなかったと思います。

明治以降、塩の生産・販売は1905年から2002年までの約100年間、国の管理下にありましたが、現在は自由化されています。製塩業が工業化されるときに製塩家が共同で出資して作った会社、鳴門塩業の工場では現在でも塩を作っています。

4.生产盐都有什么方法，福永家用的是什么方法呢？

江戸時代、在盐田将海水浓度提高之后，用蒸煮的办法产盐。现在是使用离子膜技术，在工厂生产盐。

4.製塩はどんな方法がありますか。福永家はどんな方法を使っていますか。

江戸時代には、海水を塩田で濃くしてから、釜で煮詰めて塩をつくっていました。現在では、イオン交換膜法により工場で作られています。



5.20 世纪 70 年代之后，日本的盐田被相继废止，为什么这栋建筑能够保留下来？

在鸣门市之前很多的盐田，不过现在都消失了。建造于 200 年前的福永家，不仅是用来居住，包括盐田在内的相关设施都保留到了 20 世纪 70 年代，因十分珍贵被指定为国家级重要文化财产。之后，福永先生将其住所赠与鸣门市并由市进行管理。

5.1970 年代以降、日本の塩田が相次いで廃止されます。どうしてこの建物は残されたのでしょうか。

鳴門市でも、たくさんあった塩田がなくなっていきましたが、福永家は 200 年前に建てられた住居だけでなく、塩田など製塩施設も 1970 年代まで残っており、とても貴重だったため国の重要文化財に指定されました。その後、鳴門市が福永さんから寄贈していただいて、管理しています。

6.能简单介绍一下福永家住宅的名字和用处吗？

进入福永家住宅，眼前被茅草覆盖的建筑物叫做咸水溜，在房屋内有储存高浓度海水的蓄水池。

往里走有个彩钢瓦屋顶的建筑物叫釜屋，用来煮高浓度的海水。之前在制盐的时候，这里也是茅草屋顶。

再往里，是福永先生和家人一起居住的正屋，以及招待客人的厅堂（离座敷）等等。

其他还有纳屋和土藏等，是用来存放制盐工具和生活用品的地方。

6.福永家住宅の建物の名前、役割を簡単に紹介していただけますか。

福永家住宅に入った所にある茅葺きの建物が、鹹水溜（かんすいだめ）です。屋根の下に塩田でできた鹹水（濃くなった海水）を貯めておく貯水槽（プール）があります。

その奥にあるトタン屋根の建物が鹹水を煮詰めて塩を作る釜屋です。塩を作っていた当時は釜屋も茅葺きの屋根でした。

その奥には、福永さんの家族が住んでいた主屋や、客人をもてなす離れ座敷などがあります。

そのほかにも、納屋や土蔵など塩づくりや生活の道具などを入れておく建物がいくつかあります。



7.今后如何继承发扬福永家住宅和制盐技术？

福永家住宅，最近这两年因为疫情没有对一般公众的开放，目前正在重新考虑。另外，也考虑应用到教育和旅游光等领域。

7.これからはどのように福永家住宅と製塩技術を伝承しますか。

ここ2年間はコロナ禍のためできませんでしたでしたが、福永家住宅を見学してもらったため、一般公開を再開したいです。また、教育や観光分野など、新しい活用法についても考えていきたいですね。

谢谢。

另外，福永家住宅于10月30日（周天）面向一般群众开放，感兴趣的读者一定不要错过。

ありがとうございました。

ちなみに、福永家住宅は10月30日（日）に一般公開します。興味のある読者はお見逃しなく。

照片引用网址：

<https://www.city.naruto.tokushima.jp/promotion/bunkazai/fukunagake.html>

所属：鳴門市文化交流推進課

住所：鳴門市撫養町南浜字東浜 170（〒772-8501）

TEL：088-684-1214／FAX：088-683-0237

E-mail：bunkakoryu@city.naruto.i-tokushima.jp

作成：呉 世康